

LSEG Due Diligence

サードパーティ・リスク・レポート



LSEG RISK
INTELLIGENCE

サードパーティ・リスクの現状

今日、多くの企業が業務遂行のためにサードパーティを利用しています。商品やサービスの供給、製品の市場投入、顧客チャネルの拡大など、サードパーティは組織に多大な利益をもたらしますが、同時に多くの潜在的なリスクと課題をもたらします。

コンプライアンス、健全性、倫理、その他の違反行為に間接的にでも関与する組織は、規制や風評の面で大きなダメージを受ける可能性があります。そのため、サードパーティに関するリスクの全容を理解しておくのは重要なことです。

サードパーティ関係、リスク管理、コンプライアンスのグローバル専門家約 1,800 人を対象に LSEG が 2020 年に実施した調査によると、組織は通常、数多くのサードパーティと関わりを持っていますが（その数は平均で 9,735 と記録されています）、その内 43% のサードパーティはデューデリジェンス・チェックを受けていないことが明らかになりました。

このことは、コンプライアンスに明らかにギャップがあることを示しており、多くの企業がサードパーティによるリスクに対して脆弱なままであることを浮き彫りにしています。

LSEG Due Diligence サードパーティ・リスク・レポートは、サードパーティに関連付けられる広範なリスクに関して包括的なインサイトを提供します。LSEG のレポートは、正確かつ明確で詳細な情報を提供し、企業が迅速、効率的、かつコスト効率よく、情報に基づいたリスク判断を行えるよう支援します。

サードパーティについて知っておくべきこと

サードパーティと関与する前に考慮すべき具体的なリスクには、次のようなものが挙げられます。



制裁および除外リスク：一緒に仕事をしても問題ないか

サードパーティを評価する上で欠かせない最初のステップは、政府や規制当局から制限を科されている個人や団体を把握することです。



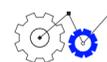
アイデンティティ・リスク：サードパーティが申告しているIDは真正のものか

サードパーティは、その所有権、従業員、業務などに関する詳細な情報を、透明性を持って提供することが求められます。透明性の欠如は即ち、重要な公的地位を有する人物(PEP)とのつながりや、政治的取引、汚職などの潜在的な問題を示唆している可能性があります。また、サードパーティは資金源についての情報を提供する必要があります。



ESG リスク：サードパーティは自身や、その事業環境などに損害を与えることはないか

ESG（環境・社会・ガバナンス）の要素を企業の意思決定に組み込む企業が増えています。このことから、サードパーティに対するデューデリジェンスを行う際には、環境破壊、人権侵害、現代の奴隷制への関与、アニマルウェルフェア違反、劣悪な雇用慣行といった ESG 関連リスクを考慮しなければなりません。



オペレーショナル・リスク：サードパーティは業務遂行能力を有しているか

企業は、サードパーティが業界でプレゼンスを示しているか、製品やサービスの品質に定評があるか、健全な業務慣行を遵守しているか、事業継続計画を策定しているかなど、事前にこれらの項目を調査しておく必要があります。



健全性リスク：一緒に仕事をすべきか

サードパーティの健全性を把握することは、そのサードパーティが自社の基準や行動規範に合致した良いパートナーであるかを判断するのに役立ちます。ここで言う健全性リスクとは、組織犯罪、贈収賄、汚職、不正行為、マネーロンダリング、テロ資金供与、深刻な税務コンプライアンス違反などの関連性を指す場合があります。



財務リスク：サードパーティは経済的損害を及ぼさないか。

サードパーティの財務上の健全性と安定性を確認することは重要です。ビジネス関係を築く前に財務面での不正行為を発見しておくことも同様に重要とされています。



サイバー・リスク：サードパーティはデータの取扱いには慎重か

各企業はサードパーティに対し、公開されている知的財産や機密情報を悪用しないこと、データ・プライバシー規制を尊重・遵守すること、データ・セキュリティを確保するための適切な措置を講じるといったことを確約させる必要があります。

さまざまなリスクを調査、格付けするデューデリジェンス

LSEGのサードパーティ・リスク・デューデリジェンス・レポートは、サードパーティに関連するリスクやその他の潜在的リスクについて、正確で質の高いインサイトを提供します。

Basic、Core、Advanced、Premiumの4種類のレポートをご用意

各レポートは、クライアントの要件やリスク・レベルに応じて作成されており、すべてのレポートにおいて、先述の主要なリスク・カテゴリーがカバーされています。

より多くの情報に基づいた意思決定を可能にするためにリスク・レーティングを用意し、次のようなさまざまな要素に基づいて、リスク・レベルを1～10段階で格付けします。

- データソースの信頼性
- 問題発生の時期
- 業務における問題の重要性
- 問題がもたらす結果の深刻度
- 注目すべきリスクのパターン
- 実施した是正措置

一目でわかるリスク概要

LSEG Due Diligence

Third-Party Risk Report

PREMIUM

Empresa farmacéutica premium
Brazil | Health Care Equipment & Services

OVERALL RISK RATING
5

EXECUTIVE SUMMARY

The Company has engaged in many governmental dealings, and has been involved in a number of civil proceedings. The Company also has an unusually limited online profile given its size and purported prominence as well as its ownership being held by two offshore structures which don't disclose shareholders. Furthermore, reputational intelligence enquiries revealed evidence of questionable employment practices and service quality.

RISK CATEGORIES

HIGHEST RISK										LOWEST RISK	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
INTEGRITY RISKS		ENVIRONMENT, SOCIAL AND GOVERNANCE RISKS (ESG)		OPERATIONAL AND QUALITY RISKS		FINANCIAL RISKS		IDENTITY RISKS			
7 Government connections		5 Human rights		6 Industry presence		6 Financial stability		3 Transparency			
6 Corruption and bribery		6 Environmental degradation		6 Modern slavery		6 Product and service quality		3 Source of wealth			
6 Fraud		6 Animal welfare		6 Employment practices		6 Financial irregularities		3			
6 Serious and organised crime		6 Money laundering		6 Tax non-compliance		6 Sales and marketing practices		6 Governance and management		6 Operational quality	
6 Terror and related matters		6 Health and safety		4 Regulatory enforcement		4 Business continuity		6 DATA AND CYBER RISKS		6 Personal data privacy	
6 Anti-competitive behaviour		6 Sanctions and restrictions		6		6 Intellectual property		6 Data security			

For information about Risk Rating, the Risk Categories, and Peer Benchmarking, see appendix

Peer Benchmarking

Associations Summary

- farmacéutica premium
- Maria Rodriguez
- Jose Gustavo
- Gabriela Pereira
- Comercio de Aedimentos
- EIREVI
- Campinas Sarl

Sources Summary

- Global Compliance Checks 1
- Media 7
- Website 1
- Litigation 2
- Reputation 2
- Official Documentation 1
- Site Visit 1

Case ID: Sample4567
Prepared by Refinitiv
CONFIDENTIAL

Report generated on Sep. 15, 2020
Updated Nov. 5, 2020

LSEG RISK INTELLIGENCE

リスク・レーティング
1~10段階。数字が小さいほどリスクが高い

リスク・テーブル
リスク・カテゴリと具体的なリスクに応じて、LSEGによる見解や格付けを表示

関係者(企業)一覧
このレビューの対象となった人物・企業

情報ソース一覧
参照した情報源(対象別に記載)

フッター
レポートに関する情報および問い合わせ先



カスタマイズされたレポートでさまざまなニーズに対応



Basicレポート

Basicレポートには、レビュー対象の主要なサードパーティと主要人物を World-Check で検索した結果が記載されています。また、LSEG が取り扱うすべての質問事項について、徹底したメディア・リサーチ結果を英語とサードパーティの現地言語の両方で記載しています。Basicレポートは、低リスクのサードパーティを迅速に確認することを目的としています。

その他、クライアントから寄せられた他のすべての質問に関する情報は、特定の検索文字列を使用し、それぞれのリスク分野を対象として、英語とサードパーティの現地言語によるメディア・リサーチを使用して収集されます。

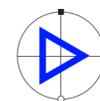


Coreレポート

Coreレポートには、Basicレポートのすべての調査内容に加えて、管理者に対する補足調査の結果が記載されています。Coreレポートは、公文書の収集が必要とされる中リスクのサードパーティについて、デスクトップレビューを提供することを目的としています。

Coreレポートの概要

- コンプライアンス情報は、対象のサードパーティに加え、2名の主要責任者を対象としたグローバル・コンプライアンス・チェックを用いて収集されます。
- 身元に関する情報は、対象会社に関する登記簿謄本やニュース・ソースから収集しています。
- 健全性に関する情報は、英語と現地言語によるメディア・リサーチのほか、対象企業および2名の主要責任者に対する訴訟、規制、法執行機関の調査結果から収集されます。
- 財務健全性に関する情報は、破産調査や登記簿に記載されている法定帳簿から収集されます。メディア・リサーチにより、財務情報を掘り下げることも可能です。
- ESGリスクに関する情報は、メディア・リサーチに加え、ESG専用のデータソースからNGOの活動概要を使用して収集されます。
- サイバー・リスクに関する情報は、情報漏えいを対象としたメディア・リサーチや、サイバーセキュリティ・データソースからのセキュリティ評価を用いて収集されます。
- 業績や業務リスクに関する情報は、メディア・リサーチによって収集されます。



Advanced レポート

Advanced レポートには、Core レポートのすべての調査内容に加えて、より多くの関係者・関係企業に関する調査結果が記載されています。また、調査対象を信用リスク、ESG リスク、サイバー・リスクにまで拡げており、公開情報源を容易に入手できる国・地域で事業を行う中・高リスクのサードパーティを対象としています。

Advanced レポートの概要

- コンプライアンス情報は、対象企業とさらに5名の管理者および関連事業体に対するグローバル・コンプライアンス・チェックによって収集されます。これにより、支配権の概観を明確に把握できます。
- 身元に関する情報は、ニュース・ソースや対象会社に関する登記簿謄本から収集され、株式保有の3段階にまで達しているか、または25%以上の株式を個別に保有するすべての所有者を検出します。
- 健全性に関する情報は、英語と現地言語によるメディア・リサーチのほか、対象企業および5名の主要責任者に対する訴訟、規制、法執行機関の調査結果から収集されます。
- 対象企業の財務健全性に関する情報は、信用格付機関への照会や破産調査、登記簿に記載されている法定帳簿から収集されます。メディア・リサーチにより、財務情報を掘り下げることが可能です。
- ESG リスクに関する情報は、メディア・リサーチに加え、ESG 専用のデータソースから取得した NGO の活動および問題の詳細概要を用いています。
- サイバー・リスクに関する情報は、情報漏えいを対象としたメディア・リサーチや、サイバーセキュリティ・データソースからのセキュリティ評価およびその根拠となる重要指標を用いて収集されます。
- 業績や業務リスクに関する情報は、メディア・リサーチによって収集されます。



Premium レポート

Premium レポートには、Advanced レポートのすべての調査内容に加えて、現地のレピュテーション・インテリジェンスに関する調査結果が記載されています。公開情報源を容易に入手できない国・地域で事業を行う高リスクのサードパーティを対象としています。

Premium レポートの概要

- コンプライアンス情報は、対象企業とさらに5名の管理者および関連事業体に対するグローバル・コンプライアンス・チェックによって収集されます。これにより、支配権の概観が明確に把握できます。
- 身元に関する情報は、ニュース・ソースや対象会社に関する登記簿謄本から収集され、株式保有の3段階にまで達しているか、または25%以上の株式を個別に保有するすべての所有者を検出します。レピュテーション・インテリジェンスに関する調査は、公文書が十分でないような場合に、オーナーシップを理解する点で役立ちます。
- 健全性に関する情報は、英語と現地言語によるメディア・リサーチのほか、対象企業および5名の主要責任者に対する訴訟、規制、法執行機関の調査結果から収集されます。レピュテーション・インテリジェンスに関する調査は、メディアで報道されていない健全性の問題を把握したり、そこで得た情報を明確にしたりするために使用されます。
- 対象企業の財務健全性に関する情報は、信用格付機関への照会や破産調査、登記簿に記載されている法定帳簿から収集されます。メディア・リサーチおよび直接問い合わせることで財務情報を掘り下げることも可能です。
- ESG リスクに関する情報は、メディア・リサーチに加え、ESG 専用のデータソースから取得したNGOの活動および問題の詳細概要を用いています。
- サイバー・リスクに関する情報は、情報漏えいを対象としたメディア・リサーチや、サイバーセキュリティ・データソースからのセキュリティ評価およびその根拠となる重要指標を用いて収集されます。
- 業績や業務リスクに関する情報は、メディア・リサーチによって収集されます。評判調査の回答により一層の情報を得ることも可能です。

ご要望に応じて、クライアント提供資料のレビューをすべてのレポートに含めることができます。

メディア・リサーチはすべて英語での対応となりますが、オプションで現地言語でのリサーチを追加することも可能です。

LSEG Due Diligence サードパーティ・リスク・レポートの特長

LSEGのサードパーティ・リスク・デューデリジェンス・レポートは、詳細な分析と正確なリスク・レーティングを提供し、企業が十分な情報に基づいた意思決定を行い、自信を持ってサードパーティと関わることができるようサポートします。



高品質な総合レポート：LSEGのレポートでは、サードパーティに関連するさまざまなリスクについての正確な情報と質の高いインサイトを提供します



迅速な対応：Basicレポートであれば最短2営業日でご用意可能です。詳細レポートの場合でも、迅速かつ効率的な作成に努めます



コスト効率の追求：魅力的な価格で、コスト効率の高いデューデリジェンス・ソリューションを提供します



グローバルなカバレッジ：世界的なカバレッジを提供しており、現地言語によるメディア・リサーチにも対応します



信頼できるサプライヤーによる高度な専門分野知識：LSEGは20年以上にわたり、世界中の企業に有益なデューデリジェンス・サポートを提供しています



